

経営比較分析表（令和5年度決算）

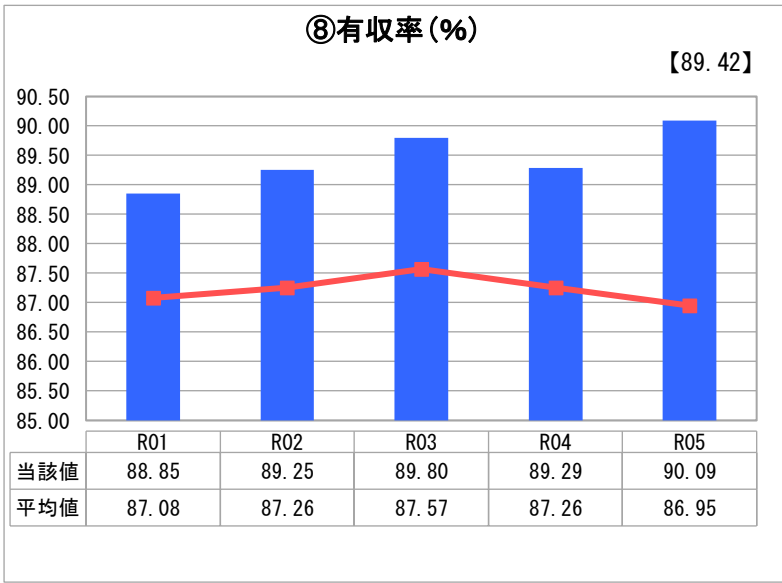
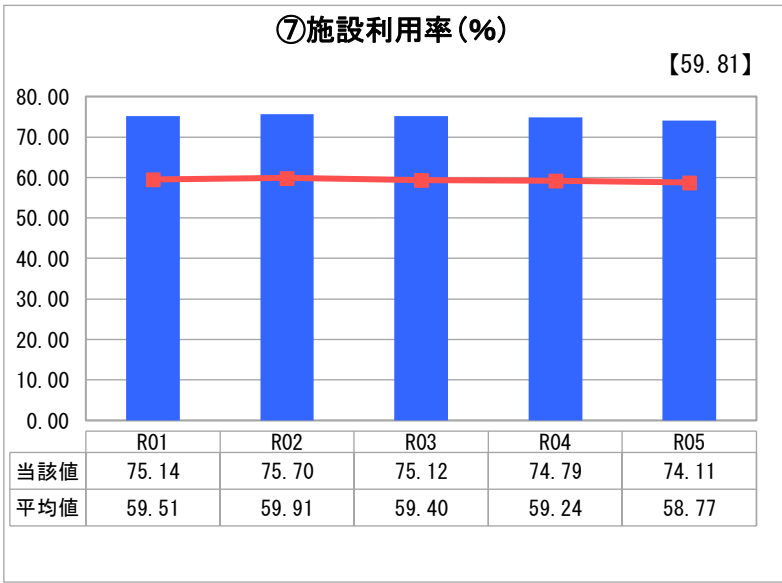
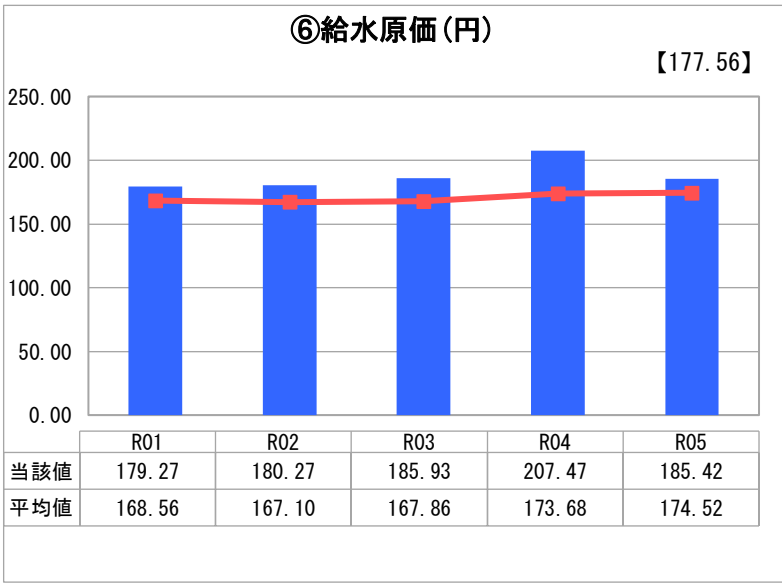
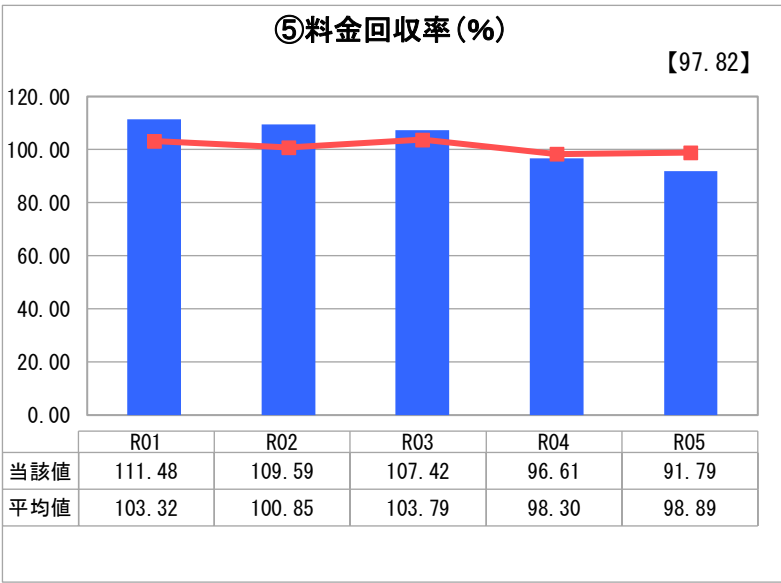
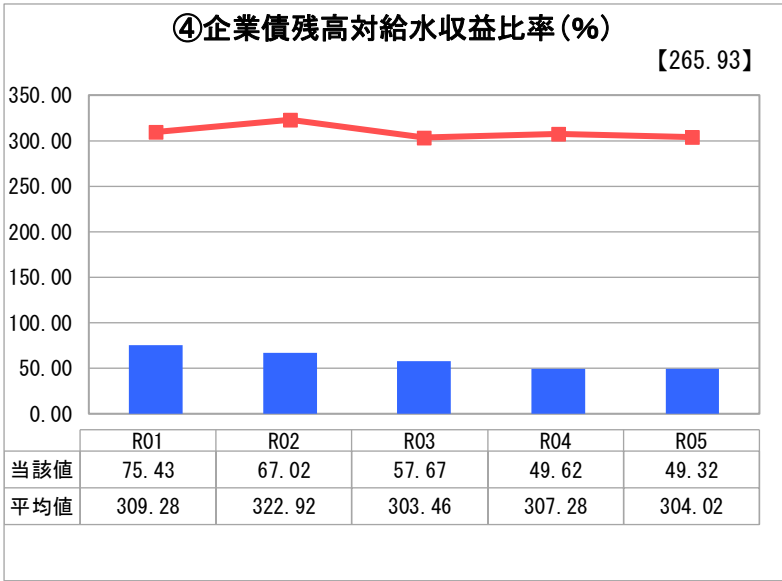
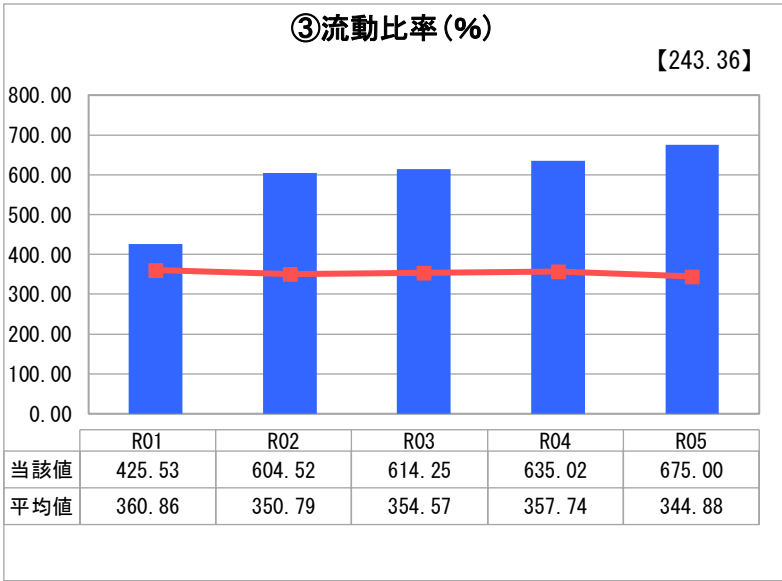
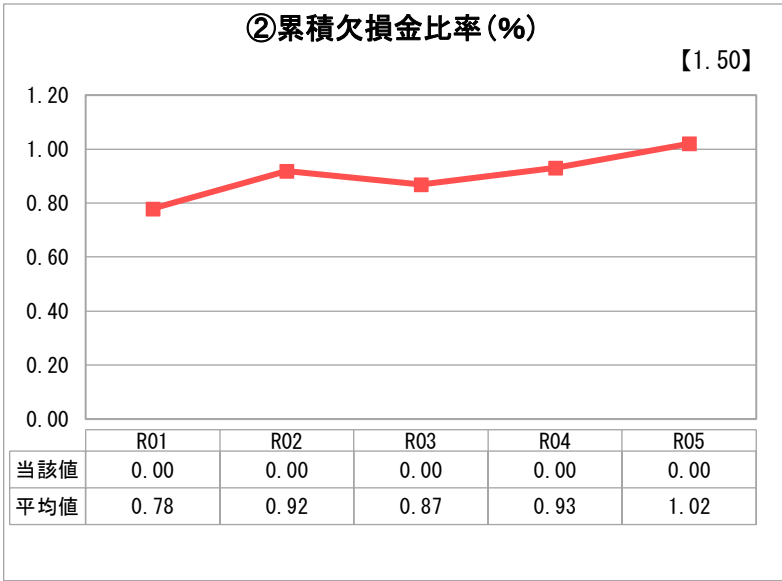
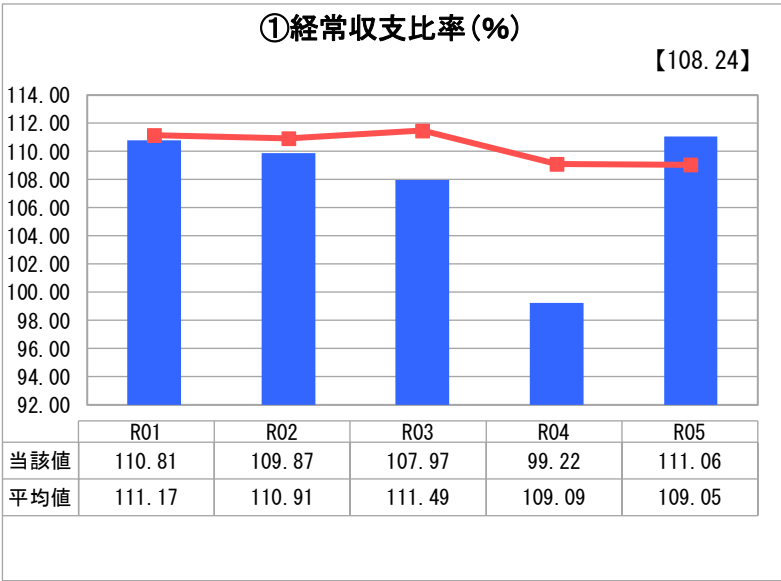
岐阜県 美濃加茂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	94.52	99.35	3,850	

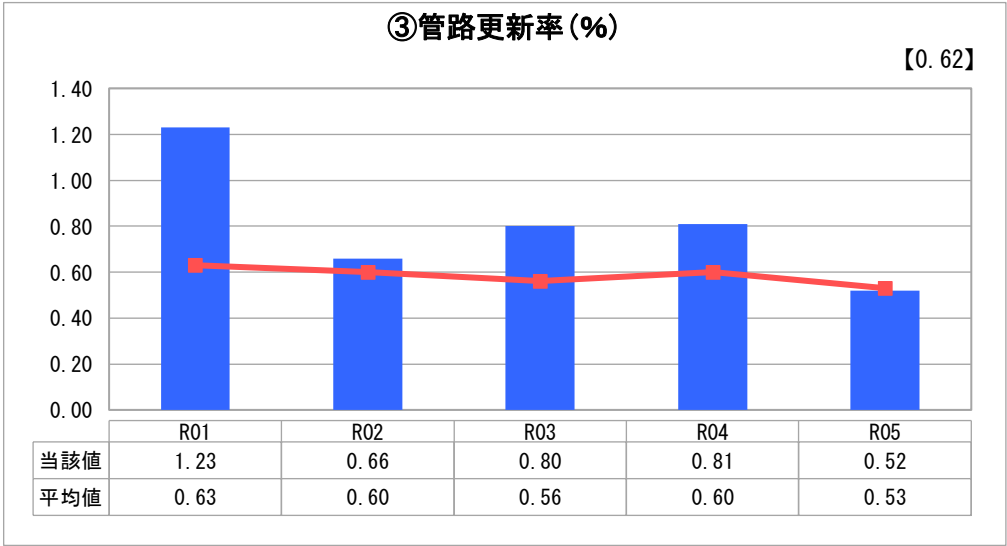
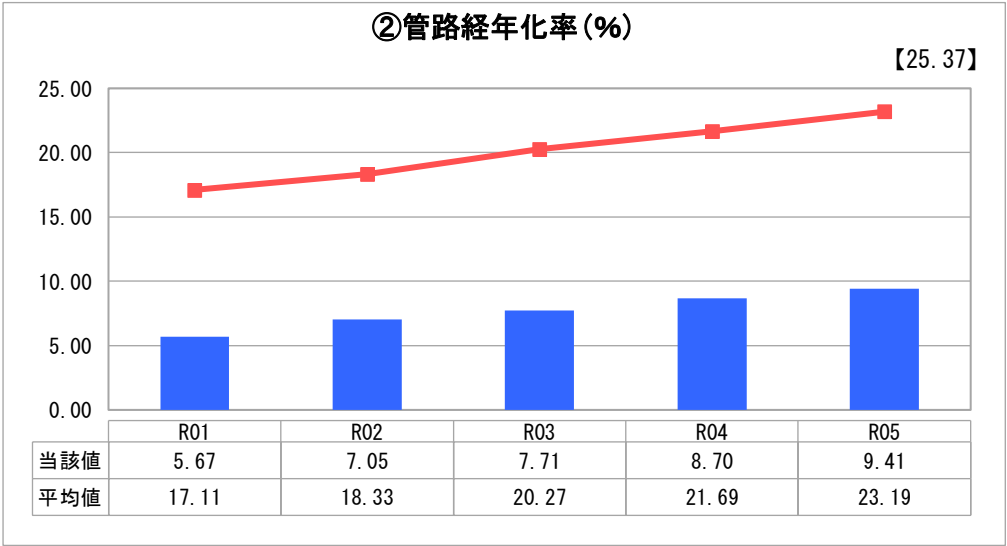
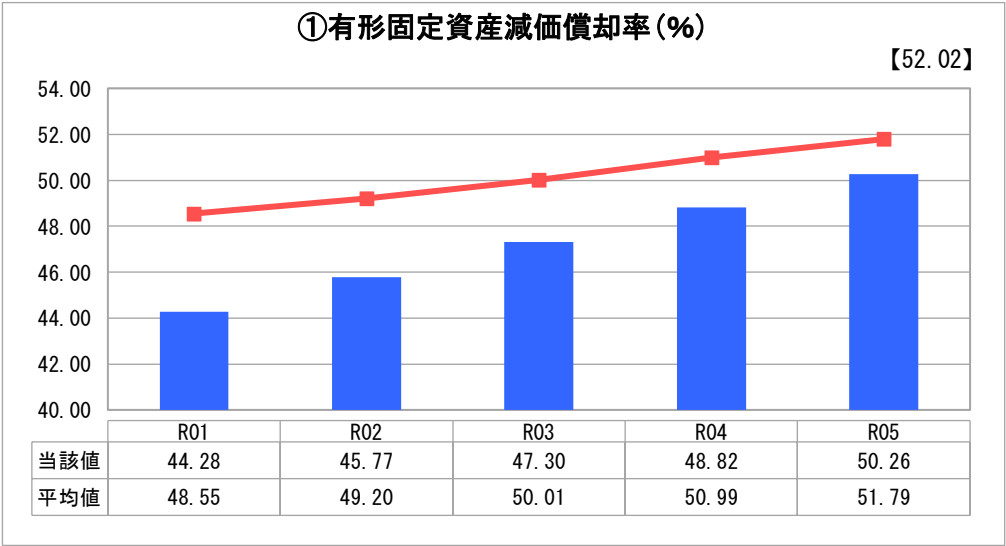
人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
57,540	74.81	769.15
現在給水人口（人）	給水区域面積（km ² ）	給水人口密度（人/km ² ）
56,985	43.30	1,316.05

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度については、動力費の高騰が落ちついた事や修繕費の見直しを行ったことにより営業費用が削減され、前年度と比較して経常収支比率は11.84ポイント増加、給水原価は22.05円減少した。また令和5年度は一般会計からの繰入金を財源に基本料金の減免を5カ月間行ったため、給水収益及び供給単価が減少し料金回収率は前年度と比較して4.82ポイント減少した。なお基本料金の減免額を考慮すれば料金回収率は約108%となるため令和3年度以前と同水準である。

流動比率は前年度から39.98ポイント増加し、依然として類似団体と比較しても高い支払能力を有しているといえる。

企業債残高対給水収益比率については、令和5年度は基本料金の減免を行ったことにより給水収益が減少しているが、当事業においては近年企業債の新規借入は行っておらず企業債の残債を償還するのみとなっているため前年度と比較して0.3ポイントの減少となった。

前年度と比較して、年間配水量は減少するも年間有収水量は増加したため、施設利用率は0.68ポイント減少し、有収率は0.8ポイント増加した。両指標とも類似団体と比較しても高い水準を保っており、今後も効率的な経営ができるよう引き続き有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

水道施設の老朽化の状況は類似団体と比較して概ね良好ではあるが、前年度と比較して、有形固定資産減価償却率は1.44ポイント増加、管路経年化率は0.71ポイント増加しており、増加傾向にある。

また、管路更新率は前年度と比較して0.29ポイント減少し、類似団体と同水準となっている。

今後も引き続き、計画的に老朽管の更新を進め、耐震化等による防災対策や有収率の向上に努める。

全体総括

当事業の経営状況は、経営の健全性・効率性、老朽化の状況ともに、全国平均や類似団体と比較して安定的な経営が維持されてきたところである。

しかしながら、今後は人口減少や節水機器の普及などの影響による給水収益の減少や物価高騰、浄水配水施設の老朽化による維持費用の増加が見込まれるため、引き続き費用の見直しや水道料金の見直しの検討などを行い、経営の健全性向上に努める。

令和2年度に策定した「新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向けて、今後はより一層、経営の効率化を図るとともに、老朽管や経年施設の計画的な更新により安定給水能力の向上に努める。